

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	11 国際関係
中項目	
小項目	11.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	11.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 英語コミュニケーションを体系的に学習するためのカリキュラムの構築	→英語コミュニケーション科目のカリキュラムの設定・構築状況	D	C	C	B	☆
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」					
	→					
	→					

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	英語コミュニケーションに関しては、基礎教育（文法、会話の習得）が学部教育で終了しているとの前提に立って関連科目の配置を行っている。具体的には、企業会計コースでは、国際化への対応を目的に国際会計論をコア必修科目に据えるとともに、ベーシック科目に国際会計基準論Aと国際会計基準論Bを、アドバンスト科目にビジネスコミュニケーション、英文会計、及び英文会計事例研究の各科目を開講している。また、自治体会計コースでは、ベーシック科目とアドバンスト科目に、国際公会計論と海外行政経営事情をそれぞれ配当するとともに、NPM（ニュー・パブリック・マネジメント）の海外事情の調査を目的にNPMの先進国イギリスにおいて自治体行政経営の先駆的実績を上げている3つの大学院・研究機関と協定を締結している。会計制度の実務的教習という会計専門職専攻の性格から、内容的にはこれらの科目配置により概ね適切に実行できていると考えられる。
備考	